

生まれた年度と卒業年次によって何回生かがわかる早見表です。卒業当時の校長先生、各クラスの担任の先生方のお名前も併記しております。懐かしい恩師にお会いになりたいという方は是非、同窓会役員へご連絡ください。現在の勤務校等、同窓会で把握している範囲で情報提供可能です。

回生	生まれた年度	卒業年	在職校長	卒業年次 組担任										
				1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組		
1	1967	S42	1986	S61	加藤 暢郎	吉光 章喜	佐藤 典郎	伊藤 峰視	浅沼 一夫	関 訂	梁川 武治	千葉 元信	渡辺 忠明	
2	1968	S43	1987	S62	加藤 暢郎	佐藤 典郎	齋藤 光次	渡部 孝	武林 恵子	浅沼 一夫	澤村 茂	狩野 宗憲	早川 克文	
3	1969	S44	1988	S63	加藤 暢郎	渡部 孝	菊池 由和	鈴木 秀夫	熊谷 桂二	木村 淳	福田 誠	山下 雅範	奥山 雅敏	
4	1970	S45	1989	H1	湯本 真哉	小野寺 宏	吉光 章喜	一條 忠美	堀川 和義	狩野 宗憲	櫻井 宏一	武林 恵子	千田 孝彦	
5	1971	S46	1990	H2	湯本 真哉	佐藤 典郎	青山 純	渡部 孝	太田 健治	河野 博子	浅沼 一夫	齊藤 安正	澤村 茂	
6	1972	S47	1991	H3	湯本 真哉	佐藤 典郎	伊藤 峰視	和泉 安信	粕谷 淳子	熊谷 桂二	木村 淳	菊池 由和	福田 誠	
7	1973	S48	1992	H4	湯本 真哉	狩野 宗憲	菊池 豊	澤村 茂	渡部 孝	小野寺 宏	遠藤 宣廣	堀川 和義	櫻井 宏一	井口 雅夫
8	1974	S49	1993	H5	沼田 啓亮	浅沼 一夫	青山 純	一條 忠美	齊藤 安正	谷藤 正樹	河野 博子 (狩野 宗憲)	山下 雅範	太田 健治	
9	1975	S50	1994	H6	沼田 啓亮	渡部 孝	菊池 由和	大宮 和子	秋元 一郎	熊谷 桂二	千田 孝彦	阿久津三枝子	鎌田 幹夫	
10	1976	S51	1995	H7	沼田 啓亮	阿部 翼	菊池 豊	佐伯 聖一	菅原 一比古	武林 恵子	小野 泰治郎	堀川 和義	小野寺 宏	井口 雅夫
11	1977	S52	1996	H8	菅野 政夫	梅田 茂	玉井 秀明	斎藤 文弘	志村 和治	上西 亮子	渡部 孝	狩野 宗憲	大谷 豪生	
12	1978	S53	1997	H9	菅野 政夫	青山 純	一條 忠美	玉井 秀明	熊谷 桂二	鎌田 幹夫	菅原 一比古	菊池 潤	樽野 幸義	
13	1979	S54	1998	H10	菅野 政夫	佐藤 春作	菅原 久夫	大橋 由紀子	高瀬 琢弥	町田 尚彦	笠原 哲雄	芳賀 誠	谷藤 正樹	
14	1980	S55	1999	H11	遠藤 宗雄	加藤 徳善	飛鳥 貴	斎藤 文弘	伊藤 浩	小野寺 雄一	樽野 幸義	三浦 全郎	遠藤 厚志	
15	1981	S56	2000	H12	遠藤 宗雄	栗原 虔治	菅原 実	奥山 恭子	高橋 隆一	半田 千里	樽野 幸義	金澤 潤	末木 正信	
16	1982	S57	2001	H13	岡崎 忠	北爪 郁子	青山 勝	町田 尚彦	堀籠 亮一	佐藤 春治	菅原 久夫	玉井 秀明	大橋 由紀子	
17	1983	S58	2002	H14	岡崎 忠	飛鳥 貴	齋藤 孝志	小野 均	梅森 修二	半田 千里	伊藤 浩	伊藤 博之	川村 恵理子	奥山 恭子
18	1984	S59	2003	H15	花井 弘美	渡部 知子	青山 勝	加藤 徳善	佐藤 浩志	金澤 潤	細倉 浩	木村 篤史	畠山 晶子	浅野 行廣
19	1985	S60	2004	H16	花井 弘美	岩淵 伸夫	渡部 知子	山本 肇	佐藤 光二	小野 善広	堀籠 亮一	宇都宮 満	北爪 郁子	
20	1986	S61	2005	H17	花井 弘美	佐々木 智子	菅原 謙一	富岡 久喜	川村 恵理子	黒澤 弘	奥山 恭子	宇都宮 満	小野 勝	
21	1987	S62	2006	H18	花井 弘美	神保 義信	村松 昌子	桂島 猛	飛鳥 貴	手代木 章宏	秋山 直樹	青山 勝	菅原 淳	
22	1988	S63	2007	H19	高津 律子	佐藤 春治	佐藤 浩志	鶴岡 文彦	佐竹 潤一	岩館 裕章	青柳 啓介	雪江 美穂	庄司 清彦	
23	1989	H1	2008	H20	高津 律子	菅原 謙一	奥山 恭子	池田 秀樹	木村 剛	木村 篤史	宇都宮 満	鈴木 秀利	富岡 久喜	
24	1990	H2	2009	H21	高津 律子	高橋 由紀	上杉 茂樹	青柳 啓介	村松 昌子	村上 悟	富永 明	愛澤 英治	黒澤 弘	
25	1991	H3	2010	H22	佐藤 富夫	池田 秀樹	針生 智之	横山 佳司	菅 修一郎	岩館 裕章	鶴岡 文彦	庄司 清彦	千葉 薫充	
26	1992	H4	2011	H23	佐藤 富夫	小野寺 章	菅原 謙一	木村 剛	大場 緑	桂島 敦	斎藤 秀美	松本 尚樹	鶴岡 文彦	
27	1993	H5	2012	H24	小笠原 朋之	林 宣子	木村 敬二	田中 由紀	青柳 啓介	横山 佳司	富永 明	村上 悟	沼田 秀樹	
28	1994	H6	2013	H25	小笠原 朋之	藤崎 統康	森谷 浩明	針生 智之	池田 秀樹	小山 裕之	西澤 崇	高橋 文	天川 葉子	
29	1995	H7	2014	H26	小笠原 朋之	梅村 聖一	木村 剛	茂野 真喜子	秋山 和士	小山 裕之	水上 智子	浅沼 謙一	小野寺 章	
30	1996	H8	2015	H27	松本 文弘	西澤 崇	二階堂 芳輝	松本 尚樹	横山 佳司	長谷川 拓美	阿部 人志明	扇谷 健	林 宣子	
31	1997	H9	2016	H28	澤田 可知	渡邊 朗	千葉 祥	川村 晃史	大内 千枝	水上 智子	平野 茂	佐藤 和之	池田 秀樹	
32	1998	H10	2017	H29	澤田 可知	茂野 真喜子	森谷 浩明	水上 智子	菅原 謙一	川上 秀一	佐藤 英人	小野寺 章		
33	1999	H11	2018	H30	澤田 可知	大森 靖恵	長谷川 拓美	池田 秀樹	三浦 誠吾	北川 武	三浦 美奈子	西澤 崇		
34	2000	H12	2019	H31	武田 元彦	近藤 純	大森 貴文	村上 健一	川嶋 伸二	富永 明	山口 昌己	小齋 勝史		
35	2001	H13	2020	R2	武田 元彦	三瓶 吉人	北條 大輔	川嶋 伸二	宮嶋 寿美枝	勝亦 浩之	赤坂 聡子	水上 智子		
36	2002	H14	2021	R3	武田 元彦	山内 佳子	坂本 陽子	扇谷 健	今野 享	佐々木 弘明	三浦 美奈子	山口 昌己		
37	2003	H15	2022	R4	澁谷 貴彦	大森 貴文	新井田 将光	長谷川 拓美	千葉 雅裕	早川 潤	大森 靖恵	狩野 わか子		
38	2004	H16	2023	R5	澁谷 貴彦	三瓶 吉人	宮嶋 寿美枝	小針 聡美	赤坂 聡子	登坂 如恵	佐々木 弘明			
39	2005	H17	2024	R6	櫻井 知大	大塚 大	滝ヶ平 拓	泉 洋祐	今野 享	三浦 美奈子	龜山 瑠依			

宮城県泉館山高等学校同窓会

〒981-3211 宮城県仙台市泉区長命ヶ丘東1 宮城県泉館山高等学校内  
Tel. 022-376-0975  
Facebook.  
<http://www.facebook.com/groups/215259171873714/>

最新情報、総会・懇親会の申し込み、  
および住所変更等のご連絡はこちらから▶  
<http://www.izumitateyama.jp/>



# Abies

翠 椈 会 | 宮城県泉館山高等学校同窓会

2024.02.29



# 館高創立40周年



**庄田 圭佑**

宮城県泉館山高等学校同窓会 会長  
17回生

## 同窓会長あいさつ

### 同窓会40周年に向けて

みなさんこんにちは。同窓会長の庄田でございます。常日頃より、同窓会の運営に対しまして、櫻井校長先生をはじめとした学校教職員の皆様、そして同窓生や在校生の皆様からの格別なるご高配に対し厚く感謝申し上げます。

今年度は開校40周年記念の1年でした。同窓会といたしましても、開校10周年には部室棟の整備、20周年には翠樞会館の建設、30周年には自習室の整備を行ってきました。今回は、校舎への校名サイン設置をはじめ、40周年関連事業をバックアップさせていただきました。特に、翠樞祭での記念打ち上げ花火への協賛は、在校生の皆様の記憶に残るお手伝いができたものと、大変嬉しく思っています。

さて、昨年の同窓会総会において、主に在校生を対象とした褒賞制度導入をお認め頂きました。これは、部活動等で全国大会出場の顕著な成績を修めた生徒に対して、その活躍に敬意を表し褒賞を実施するものです。同窓会の目的でもある、

在校生支援をより強固にすることができたと考えております。

母校の40周年に引き続き、同窓会も2025年度には創立40年を迎えます。これまでの活動を発展させていくために、より多くの皆様に参加いただけるような設えが必要と感じております。具体的な対応としては、昨年度から新たに芋煮会を実施するなど、活動の幅を広げてきてはおりますが、20～30代の同窓生の皆様が気軽に参加できるような、組織運営のあり方を模索していく必要があると考えております。

是非とも、卒業して間もないフレッシュな同窓生のご意見を頂戴したいと考えています。同窓会40周年の記念事業を皆様とともに考え、そして実現したいと強く望んでいます。なお、今年の同窓会総会は8月11日の予定です。近くなりましたら同窓会HPやSNSでご案内しますので、皆様の思いを同窓会総会でぶつけていただけたら幸いに存じます。

我々役員一同も、創立40周年にむけ全力で同窓会の発展に努めて参ります。



**勝田 正治**

宮城県泉館山高等学校 39回生  
生徒会長

2024年が始まって早数ヶ月。なにかと暗いニュースが多い世の中ですが、泉館山高校においては昨年創立40周年を迎え、今年はさらに躍進していく年になるのではないのでしょうか。

さて、そんな中、ふと高校生活を振り返ってみたのですが、誤解を恐れずに言うと私は運のいい3年間だったと思います。もちろん、すべてが上手くいったと言いたいわけではありません。実際、私達が入学してからの1年間は、コロナ感染対策のために我慢することしかできませんでした。しかし、私が大事にしたいのはそんな悲劇ではなく、それから徐々に活気を取り戻していった過程にあります。2年生後半から3年生にかけて規制は徐々に緩和され、私達が思い描いた青春

をようやく実現させることができました。3泊4日の修学旅行、生徒応援ありの泉三校定期戦、思い切り声を出して盛り上がる翠樞祭など。当たり前だったことを当たり前でできることがこれほど嬉しく感じられるのは、おそらく私達の世代だけでしょう。そんな貴重な経験ができて、私は本当に幸運だと思います。ともに歩んできた仲間達、そしてなるべく自由に活動できるよう尽力してくださった先生方には感謝してもしきれません。

きっとこれからの世代は、あるべき青春を取り戻すのではなく、新たな青春を求め挑戦し続けることと思います。これから入会させていただく同窓会の活動によって、ほんの少しでもそれらの手助けができるのなら、この上ない幸せです。



**櫻井 知大**

宮城県泉館山高等学校 校長

## 校長あいさつ

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

1月1日に発生した能登半島地震につきましては、原稿執筆中の1月下旬現在も連日新たな被害情報が報道されております。同窓会の皆様におかれましては御自身あるいは関係の方が被災されていることも少なくないと拝察いたします。被災された皆様にこの場をお借りしてお見舞い申し上げます。生徒に対する年始の校長講話では、命の大切さについて改めて考えて欲しいということ、しっかりと日々の生活に取り組むことが現在及び将来の被災地支援につながっていくということをお話しました。

さて、今年度は、いよいよ創立40周年記念事業年を迎えたわけですが、同窓会の皆様には、創立40周年記念事業実行委員会をPTA及び教育振興会の皆様とともに組織いただき、光る校名サイン板の設置、ロータリー・中庭の整備、記念マフラータオル作成、記念誌作成、記念式典及び記念講演等多大な御支援をいただきましたことに改めて感謝いたします。

1月2日の記念式典及び記念講演は、東京エレクトロンホール宮城大ホールにて行われたわけですが、記念式典では生徒一人一人の誇りある姿勢が厳粛かつ格式ある式を作り上げてくれました。式典に続く記念講演では、明治大学教授齋藤孝先生の指導によるアクティビティがありましたが、その際の館高生の感動的な力強さについては、来賓の県内各高等学校長から驚きと称賛の言葉を多くいただきましたことを御報告いたします。

さて、今年度の学校の様子についてですが、新型コロナウイルス感染対策に係

る学校教育活動の規制が5月になくなり、授業、学校行事及び部活動に一層活発に取り組む生徒の姿が目に残りました。

第38回泉三校定期戦では本校が総合優勝を収め、史上初の7連覇をなすことができました。連覇の快挙もさることながら、コロナからの復活定期戦といえる今大会に当番校として臨み他2校を牽引して大会を成功させたのは、さすが館校生、見事でありました。

部活動については高校総体で、弓道部女子団体が東北大会優勝、陸上競技部が男子個人三段跳びで東北大会出場を果たし、文化部では、囲碁将棋部、放送部及び家庭部が全国大会に出場するなど素晴らしい活躍を見せてくれました。

学校行事のうち、翠樞祭では一般公開が叶い、文化部をはじめ各団体の出展・発表を地域の多くの方々に見ていただく機会とすることができました。特に、同窓会の皆様には、中夜祭における本校校庭での花火打ち上げにあたり費用を援助いただきましたことを、お礼申し上げます。また、当日は庄田会長にお越しいただき生徒に対してメッセージもいただきましたこと、合わせて感謝申し上げます。

最後になりますが、将来の予測が困難で簡単には答えの出せない課題が山積すると言われるこれからの世界で、館高生一人ひとりが夢を実現し、また地域社会や国際社会の創造に貢献できる人材となるよう、「自律」「敬愛」「貢献」の校訓のもと、教職員一同、力を合わせて育成に努めて参りますので、引き続き御支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 空に問いを立てた時 私の探究は始まった

学生時代から探究してきた科学教育の世界を追いかけていくうちに、仙台市の市議会議員として選挙に立候補し当選、一人で政党も作った大草芳江さん。その探究のスタートラインは学び舎にありました。



**大草 芳江**さん 16回生

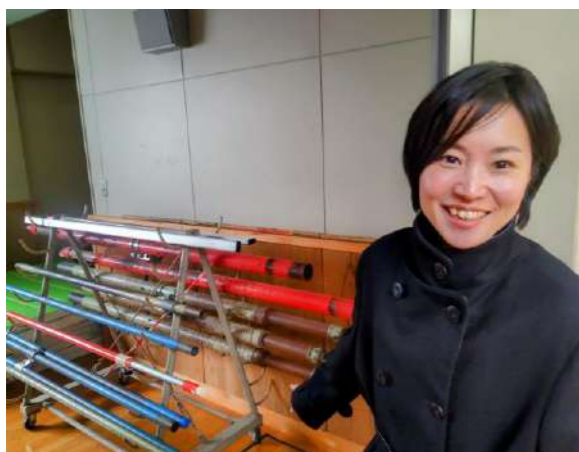
大学院生時代から科学教育の普及を志し『学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ』を一大イベントに育てる。更なる充実に向け仙台市議として活動中。



## 5分の昼練習のために立てたポール

先日行われた仙台市議会議員選挙で一人で政党を立て市議会議員として当選、活動を始めた大草芳江さんは、泉館山高校の16回生。東北大学を中心に開催され今や科学を学ぶ子どもたちに向けたイベントとして定着しているサイエンスデイをゼロから創り上げた仙台における科学教育の若き牽引者でもある大草さんのルーツを訪ねて、思い出の学び舎を歩いてみました。

卒業以来の訪問で、すっかり記憶が・・・と言っていた大草さん。校舎を歩くうちにいろいろな思い出がよみがえってきます。



昼休みに毎日立てていたポールと対面

リケジョな大草さんですが、卒業写真でもボールを持っていたバレー部女子。昼練習の5分のためにポールとネットの出し入れに励んでいたという一面もこの日もそのポールと久しぶりのご対面でした。

## 湧き出る好奇心に従う本当の学び

高校での一番の思い出の場所は、この渡り廊下、受験生となり、進学のための勉強に窒息しそうになった大草さんが一度すべてをリセットして、空を眺めているうちに、湧いてきた素朴な「なぜ!？」渡り廊下から見える空や風景を素になって見て、その一つ一つに問いを立てることを始めた時、自分の中に物事を探究する意欲が湧き出し、それに導かれるように理学部を目指し、さらにその先の学びの場を創るべく、NPO団体やサイエンスデイを生み出しさらには政治の世界にも進んでいくことになったそうです。そんな本当の学びをもっともっと広げるため地域の科学教育をよりよいものへと導くために大草さんの探究はこれからも続いていきます。



議会で質問する大草さん

# 自分で動かなければ 何も動かない

ライフワークである仙台の野球史の研究で、野球文化學會の學會奨励賞(活動部門)を受賞された伊藤正浩さん。地道な調査に基づいて発見した事実が市を動かし、後世に伝えていくために記念碑が立つことに！



**伊藤 正浩**さん 6回生

社員の傍ら野球郷土史家として仙台の野球文化の研究に取り組んでいる。近代仙台研究会員・野球文化學會會員



## 野球の試合前挨拶は何と仙台が発祥

普段は会社員ですが、その一方、10年ほど前から仙台の野球史を研究しています。

その甲斐あって、今年1月、野球文化學會の學會奨励賞(活動部門)を受賞できました。受賞理由は、仙台野球史の掘り起こしと発表活動です。朝日新聞宮城版でのコラム「みやぎ野球史再発掘」の連載もさることながら、青葉区片平公園への「野球の試合前挨拶発祥の地記念碑」の建設に向けた活動が決定打でした。野球の挨拶は仙台発祥なのです。1911年に旧制二高(のちに東北大に包摂)が主催した東北六県中学大会で初めて行われたことを史料から示して著したのは2016年のことでした。

## 研究成果を広めるために

素人研究者の発表ですので、なかなか広まりませんが、2022年にプロ・アマの野球組織が共催して野球伝来150年記念事業として実施した「聖地・名所150選」に、旧制二高グラウンド跡(片平公園)が、挨拶が発祥した場所として選出されるように活動し、認定されたことで仙台発祥を球史の公認の事実にできました。

## サンドウィッチマンを動かせ!

記念碑の建設では、サンドウィッチマンのラジオ番組に投稿して意義を訴えたところ、お二人が意気を感じて仙台市長へ提言いただけました。その後、市議会で公費での事業化が決定しました。設置にあたっては碑文・デザイン・設置場所などの検討に加わり、お披露目式でも挨拶ができました。

未開拓の分野だけに、研究の意義を認めてもらうところから「自分で動かなければ何も動かない」ところが大変さでもあり面白さでもあります。



伊藤さんの活動によって片平公園に設置された記念碑

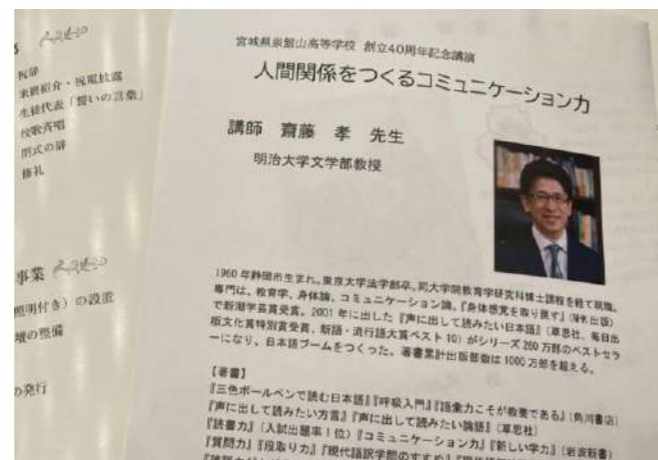
TOPIC 03

創立40周年記念式典が開催されました。



令和5年11月2日に泉館山高等学校創立40周年記念式典が東京エレクトロンホール宮城で開催されました。

現役の生徒、現・旧教員の方々、主に市内に所在する高校・中学校の校長先生、地域の方々、PTAの代表の方、同窓会…ざっと1,000名ほど出席。同窓生も若干名いらっしゃいました。



その後、「声に出して読みたい日本語」等で有名な明治大学教授の齋藤孝先生の記念講演が行われました。40年間で約12,000人以上の方が巣立っていった、わが母校。母校の存在があったから同窓会の活動・交流もあります。そんな我が母校・泉館山高校 創立40周年、誠におめでとうございます！！2年後には、同窓会も40周年を迎えますよ！運営・準備に携われたの方々、お疲れさまでした。

TOPIC 04

同窓会として創立40周年記念として各種施設整備や協賛を実施しました。



創立40周年記念して、創立40周年記念事業実行委員会が組織され、PTA及び教育振興会とともに同窓会も参画。40周年を記念した、前トピックでご紹介した記念式典及び記念講演を実施したほか、光る校名サイン板の設置、ロータリー・中庭の整備、記念マフラータオル作成などに協賛をおこないました。

校名サインについては、今回の同窓会報の表紙の写真にあるように管理棟の4階の屋根の南東側面に設置されており、夜間には上記の写真のように白く校名が輝いています。



このほか、令和5年8月25日26日と開催された翠樞祭も4年ぶりに一般公開で実施されましたが、コロナ禍の渦中で非常に抑制的な学校生活を送ってきた生徒さんたちに少しでも高校時代の思い出を作ってもらおうと企画された中夜祭での花火打上げ企画に対して同窓会としても協賛を行い実現することができました。

この中夜祭に同窓会からも庄田会長が参加、校庭で打ち上がる花火に生徒の皆さんが歓声をあげ、大いに喜んでもらうことができたとのことでした。

TOPIC 05

令和5年度部活動の主な戦績



- 運動部 第38回泉三校定期戦 総合優勝(7連覇)  
弓道部 女子団体 東北大会優勝  
陸上競技部 男子個人三段跳び 東北大会出場
- 文化部  
囲碁将棋部 全国大会出場  
放送部 全国大会出場  
家庭部 全国大会出場

TOPIC 06

スイーツ甲子園で最優秀賞受賞



「スイーツ甲子園 ふくしまチャレンジカップ」(共催・大熊町、富岡町、榎葉町、産経新聞社)が9月に開催され、川村由桜さん・(写真右)石塚 彩芽さん(写真左)が見事、最優秀賞の一つである大熊町賞を受賞しました。調理を専門に学んでいる調理科の生徒さんがほとんどの中、普通科高校の生徒である二人が受賞したのは快挙！おめでとうございます！

TOPIC 07

同窓会総会・懇親会開催しました。



令和5年度の総会を8月11日(金・祝)に開催しました。当日は創立40周年を記念した学校への寄附や各種行事への協賛を盛り込んだ予算や褒賞制度盛り込んだ規約を承認いただきました。総会后、4年ぶりに懇親会を開催しました。令和6年度の総会の日程については、この会にて提案がなされ、この場をお借りしてご連絡いたします。

日時: 令和6年8月11日(日・祝)午後、場所含めての詳細につきましては、公式HPおよび公式facebookにて後日ご案内いたしますので、ぜひご参加ください！

TOPIC 08

芋煮会を今年も開催しました。



昨年度に引き続き同窓会主催で令和5年10月14日(土)に芋煮会を開催しました。昨年と同様、七北田公園の河原近くの木陰で、素晴らしい秋晴れの下で開催することができました。

1回生から18回生まで人数は昨年の30名に満たない少人数ではありましたが、はるばる東京からお越しいただいた同窓生の方もいらっしゃいました。今後も10月の上旬の恒例行事として同窓生が集まれる機会として継続的に実施してまいりますので、是非ご参加ください！